

平成 27 年 11 月 26 日

山口県教育委員会会議 意見交換資料

【意見交換テーマ】

世界スカウトジャンボリーの成果を活かした本県教育振興の
取組について

- 1 コミュニティ・スクールの推進について
- 2 グローバル人材の育成について



山口県教育委員会

地域プログラムの学校訪問視察 (下関市立勝山中学校)

- 1 期 日 平成27年8月4日(火)
 2 場 所 下関市立勝山公民館
 3 日 程

時 刻	内 容
10:00	1 オープニング ・ 歓迎演奏 (管弦楽部の演奏) ・ 学校紹介 (クイズ、スカウトへのインタビュー) 2 AFPY ・ アクティビティ「パイプライン」 パイプを使い、ゴールまでボールを運ぶ競争。チーム内で作戦を立てることや、他のチームとの競争を通して、お互いに打ち解け合うことができる。 3 日本文化体験①～④の4グループに分かれて交流 ①生け花 ②着付け ③茶道 ④日本の遊び (折り紙、けん玉、コマ回し、お手玉) 4 茶話会
12:00	

- 4 視察者 石本委員
 5 参加者 114名 (生徒73名、教職員・協力者25名、見学者16名)
 6 訪問スカウト 42名 (スウェーデン、ブラジル、フランス、日本)
 7 成 果

- ① 学校支援ボランティアからの提案で、浴衣の着付け体験を実施した。
 ② 30名以上の地域住民の参加があり、学校や生徒の活動の様子を知っていただくとともに、今後の学校と地域のつながりをつくるきっかけとなった。(うち半数は初来校)
 ③ 生徒が、英語を積極的に使う活動により、コミュニケーション能力を高めることができた。
 ④ 生徒が、交流を通して、自国や相手国についての理解を深めることができた。

(交流の様子)



1 【学校紹介】 英語でスカウトへのインタビューを交えた学校紹介クイズを実施した。



2 【AFPY】お互いに打ち解ける活動として、アクティビティ「パイプライン」を行った。



3 【生け花】 日本文化を伝えようと、学校支援ボランティアが主体的に運営に関わった。



4 【着付け】 学校支援ボランティアからの企画提案により、浴衣の着付け体験を実施した。



5 【茶道】 学校支援ボランティアが中心となって茶道体験を運営した。



6 【その他】 フランス（タヒチ）スカウトからダンスを披露したいと申し出があり、実施した。

地域プログラムの学校訪問視察 (光市立浅江中学校)

- 1 期 日 平成27年8月6日(木)
 2 場 所 光市立浅江中学校、光市民ホール(※光市歓迎行事)
 3 日 程

時 刻	内 容
9 : 3 0	Welcome セレモニー 交流タイム ・全員が①、②の順に交流 ①書道体験 ②盆踊り体験
1 2 : 0 0	Farewell セレモニー

- 4 視察者 山縣委員、岡野委員、中田委員、宮部委員、浅原教育長
 5 参加者 459名(生徒328名、教職員・協力者99名、見学者32名)
 6 訪問スカウト 76名(アメリカ、イギリス、デンマーク、ドイツ、ネパール、ブラジル、ベルギー)

7 成 果

- ①準備段階からコミュニティ・スクールを活用した取組を展開した。特に英語で浅江地域を紹介することを目的として始まった英会話教室は94回になり、地域の人も外国人の前で英会話を生かして活動することができた。
 ②当日、100名以上の地域住民の参加があり、学校と地域のつながりが深まった。
 ③生徒一人ひとりが、国際交流を実体験できた。

8 参 考

午後からは、光市歓迎行事を視察

時 刻	内 容
1 3 : 3 0	光市歓迎行事 1 ひかり太鼓の歓迎演奏 2 市長・市議会議長あいさつ 3 光市紹介映像 4 歓迎神輿 5 記念品贈呈
1 4 : 3 0	

(交流の様子)



1 【Welcome セレモニー】 Welcome セレモニーでは、コミュニティ・スクールのメンバーが、浅江地域の紹介を英語で行った。これに向けて、コミュニティ・スクールのメンバーが中心となって英会話教室を企画し、ALTや生徒と一緒に継続して学習を行った。



2 【盆踊り体験】 地域住民が櫓やちょうちんを設置し、本格的な祭りをイメージした盆踊りが実施できた。



3 【木のモニュメント（寄せ書き）作り】 地域住民と生徒と一緒に木のモニュメント作りの準備を行った。当日は、空き時間にスカウトがメッセージを書き込み、モニュメントが完成した。

高校生語学ボランティアの取組

1 育成の取組

(1) 事前研修

ジャンボリーを契機に、国際教育の一層の推進を図るための語学研修や自国の文化のさらなる理解を深める研修を実施

- ①スキルアップ研修（選抜高校生対象…3回）
- ②グローバルチャレンジフォーラム（一般中高生対象…2回）
- ③サテライト研修（中学生、高校生対象…17回）
- ④直前研修（ボランティアバンク登録者対象…1回）

(2) 実習

世界スカウトジャンボリーにおける語学ボランティアの活動がイメージできるよう、地域プログラムモデル事業（平成26年度）において体験実習を実施

2 本番での活動

(1) 小学校での交流における語学サポート（延べ719名が活動）

- ①学校の歓迎行事での進行補助
- ②小学生と外国スカウトの交流支援

(2) やまぐちジャンボリーフェスタにおける語学サポート（延べ330名が活動）

県民や知事等、来場者の語学サポートや会場案内

3 活動した高校生の感想

- ①海外留学を考えており、この経験を生かして進路実現を図りたい。
- ②英語が話せる喜びや楽しさを実感できた。
- ③貴重な経験をすることができ、自分の英語のスキルが向上した。
- ④自分の語彙力やリスニング力が足りないことが分かった。

(活動の様子)



1 【スキルアップ研修】 高校生語学ボランティアのリーダーとして活躍する生徒の育成を図るため、県国際交流員や留学生等の協力を得ながら語学や交流スキルを磨く研修会を実施した。



2 【グローバルチャレンジフォーラム】 ジャンボリーへの関心を高め、語学ボランティア登録者の拡大を図る研修会を実施した。

3 【サテライト研修】 教職員や生徒のジャンボリーに関する理解を深め、スカウト受入れの一助となるよう支援室員が学校を訪問して研修を実施した。



4 【直前研修】 語学ボランティアとしての心構えを身につけ、実際の活動が円滑に行えるよう留学生を相手に交流するアクティビティなど実践的な研修を実施した。

5 【実習】 地域プログラムモデル事業（平成 26 年度）で実際に語学ボランティアの活動を体験した。

(活動の様子)



6 【地域プログラムでの活動】小学校での交流において、歓迎行事における進行や小学生とスカウトの交流等で語学サポートを行った。



7 【やまぐちジャンボリーフェスタでの活動】県民や知事等、来場者の語学サポートや会場案内を行った。



8 【やまぐちジャンボリーフェスタでの活動】活動においては、一般の県民語学ボランティアとチームで活動し、年長者のスキルや経験を実践を通じて学んだ。